

埼玉トヨペット Green Brave

10月30日(月)
Super
Taikyu

S 耐 - 070

2017 RACE REPORT

【#68 埼玉トヨペット GB GR SPORT マーク X】

2017年10月14日(土)・15日(日)

スーパー耐久シリーズ 2017 第6戦 スーパー耐久レース in 岡山 岡山国際サーキット (岡山県美作市)

■優勝を狙うも天候に翻弄され3位。自己最高のシリーズランキング3位獲得

第6戦の舞台は岡山国際サーキット。チームはこれまでの5戦中、4戦で表彰台を獲得するも優勝には届いていない。そのため「優勝」を誓い、マークXの外装も最新の「GR SPORT」に変更。気持ち十分で岡山に乗り込んだが、不安定な天候に苦しめられる。

土曜日の予選はドライ。Aドライバーの服部選手は1分39秒592(2位)、Bドライバーの脇阪選手は1分39秒393(4位)をマーク。A、B両ドライバーの合算タイムは3分18秒985となり予選4位を獲得。Cドライバーの平沼選手は1分41秒844(4位)。昨年予選(8位)を上回る好位置だが不安要素も。日曜日の天候がはっきりせず、ウェットレースになる可能性があるのだ。

そして日曜日は朝から本降り。チームはメカニック総出でクルマを調整。変更したセッティングは新たなもので、チームは賭けに出る。13時45分、セーフティカー(SC)先導でレーススタート(3時間)。スタートドライバーの平沼選手は2周目にピットに入り、脇阪選手に交代。SC先導中にピットに入ることによりムロスをおさえ、ドライバーの交代義務をクリアする作戦だ。3周目にSC解除。7位でコースに復帰した脇阪選手は徐々に順位を上げ、42周目に3位に浮上。2位は#62 レクサス RC350。ピッ

トインのタイミングが逆転のチャンスと考えたチームは、脇阪選手にギリギリまで走るように指示。上位陣の後にピットに入った方が作戦の幅が広がるからだ。しかし、マークXのガソリンがよいよ底をつき、上位陣より早い55周目にピットイン。給油を行い、服部選手は5位でコースに復帰する。服部選手は猛チャージをかけ、58周目には4位にアップ。2位の#38 レクサス ISが最後のピットを残しており、逆転できる可能性があるのだ。72周目、#38 レクサス ISがピットイン。マークXか#38 レクサス IS、どちらが前に出るか注目が集まるが、逆転はならず。服部選手は最後までプッシュするが差は縮められず、4位でチェッカーとなった。

レース後、上位チームのペナルティによりマークXの正式結果は3位に。ランキングは自己最高の3位となった。また、Green Braveドライバーである密山祥吾選手が率いるアデナウ(#10 ゴルフTCR)は2位と大健闘。チームには埼玉トヨペットが展開するフォルクスワーゲン各店舗のサービステクニシャン2名が参加。西田昌弘(VW 戸田公園)と設楽勇太(VW 西大宮)はともにホイールガンを担当したが、チームはタイヤ無交換の作戦を取ったため、経験を積むことはできず。来年の活躍に期待だ。

■VOICE FROM DRIVERS



作戦自体は良かったと思います。クルマのセッティングがもっと決まっていれば前に出られたかもしれないですね。しかし今シーズンのランキングが去年よりも一つ上がったことは大きなステップ。もう一捻りすれば強豪に立ち向かえるチームになれると思います。(服部尚貴選手)



今シーズン初めての雨で、昔のデータをもとにセッティングするしかありませんでした。優勝ができなかったのは悔しいですが、一か八かでトライして出た結果なので後悔はしていません。今シーズンのチームはワランクもツーランクも成長できていると思います。(脇阪薫一選手)



最後の最後に雨でどうにもならないレースとなってしまいました。初優勝にこだわって臨んだので悔しい結果です。しかし今シーズンは僕自身も成長でき、自信につながりました。オフの間にしっかりとクルマを作り、来シーズンこそ優勝を飾りたいと思います。(平沼貴之選手)



決勝結果 (ST-3 クラス)

#68 埼玉トヨペット Green Brave
GR SPORT マーク X
(服部尚貴/脇阪薫一/平沼貴之)

決勝：3位 (94周、3時間02分22秒680)
予選：4位 (13番グリッドスタート)

ST-3 クラス決勝結果

1位: ADVICS TRACY RC350(レクサス RC350)	95周
2位: muta Racing TWS IS350(レクサス IS350)	95周
3位: 埼玉トヨペット Green Brave GR SPORT マーク X(トヨタ マーク X)	94周
4位: 岡部自動車 Rn-s チムテツヤ Z34(ニッサン フェアレディ Z)	94周
5位: SKT team motoyama Z34(ニッサン フェアレディ Z)	94周
6位: 岡部自動車 195MBF ネットワーク Z34(ニッサン フェアレディ Z)	93周

天候: 雨 路面: ウェット ※トップ6まで(9台中)

順位	車番	チーム	ポイント
1位	39	TRACYSports	102.0
2位	62	Le Beausset Motorsports	95.0
3位	68	埼玉トヨペット Green Brave	83.5
4位	38	TRACYSports	79.0
5位	15	OKABEJIDOSHA motorsport	70.0
6位	23	OKABEJIDOSHA motorsport	46.0

※トップ6位まで(11台中)



VOICE FROM MECHANIC



運転席側のホイールガンを担当しました。初めての現場でとても緊張しましたが、先輩たちに教えてもらいながら作業ができました。レースでのシビアな時間管理は日常業務にも活かせるポイントだと感じました。また普段は見ないパーツの交換なども勉強になりました。 (大宮支店・佐藤 潤)

埼玉トヨペット Green Brave PARTNERS 協賛各社



株式会社 FM NACK5



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼玉群スリーボンド株式会社



Soft Bond 株式会社



株式会社テレビ埼玉



株式会社デンソーセールス



東燃ゼネラル石油株式会社 (Mobil)



トヨタ部品埼玉共販株式会社



トヨタホーム東京株式会社



株式会社ハッピーライフ彩生



富士ゼロックス埼玉株式会社



株式会社プロモーション

※50 音順